

看護学科

科目名： 富山コミュニティー論				担当教員 氏名： 村井嘉寛、荒木晴美、河相てる美、()、今川孝枝、高田 亮子、小倉之子、中田智子、古里直子、北山由起子、炭谷英信、稲垣尚恵 他					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	総合科目	演習	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：									
授業科目の学習教育目標の概要：						キーワード			
主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。						教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、 『私』宣言、地域社会に生きる「私」、実践 躬行			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 7. 8. 10				
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。						
E 自己管理能力			地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。						
G 倫理観			自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。						
F チームワーク・リーダーシップ			【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる						
C 論理的思考力			【生涯学習力】自ら設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。						
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト：	%	レポート：	60 %	発表：	%	実技試験：	%	その他：	40 %
特記事項： その他については、授業への積極的な取り組みとグループへの貢献度によって評価する。									
アクティブラーニング要素： (課題解決型学習) ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：毎回、ADが計画と実施の報告を受け、指導する。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
①【各学科】学修の進め方、地域調査の基本について。地域社会に生きる「私」をつくる					【予習】シラバスの確認	【予習】30分			
②【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる①					【予習】計画書の作り方を調べる	【予習】30分			
③【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる②									
④【AD】各グループで地域課題テーマの設定、情報収集、調査計画の作成を立てる②									
⑤【AD】連携機関との打合せ									
⑥【AD】調査計画の修正					【予習】計画書の確認	【予習】60分			
⑦【AD】地域課題のフィールドワーク①					【予習】計画書の確認と実体験にむけて	【予習】60分			
⑧【AD】地域課題のフィールドワーク②									
⑨【AD】地域課題のフィールドワーク③									
⑩【AD】地域課題のフィールドワーク④									
⑪【AD】地域課題の解決策の検討					【予習】ノートの整理	【予習】60分			
⑫【宮嶋】ボランティア活動を通しての「私」の育ち(ボランティア活動発表)					【予習】発表準備	【予習】60分			
⑬【AD】学習成果のまとめ①					【予習】報告書の書き方を調べる	【予習】60分			
⑭【AD】学習成果のまとめ②					【予習】報告書の書き方を調べる				
⑮【各学科】学習成果報告会					【予習】発表準備 【復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分			
使用テキスト：					その他参考文献など：佐藤郁哉：フィールドワークの技法-問を育てる、仮説をきたえる。 社会学やさまざまな領域の文献を探求的に探し参考にしてほしい。				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： ・「地域つくりかえ学」で学んだことに基づいて地域課題に主体的に取り組む。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指そう。									